

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	知能機械工学基礎セミナー		
英文授業科目名	Introductory Seminar on Mechanical Engineering and Intelligent Systems		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	1学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	M全教官		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
山田	<a href="http://www.mce.uec.ac.jp/">http://www.mce.uec.ac.jp/</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>新入生が知能機械工学科の教育および研究の内容と目標を理解し、新たな勉学意欲を持つことが出来るようにする。そのため、1年次前期中に多くの教員と接し、教育・研究方針を聞いたり、各研究室の最先端技術の動向を知る機会を提供する。さらに本セミナーでは、学生自身が調査・学習した内容をプレゼンテーションする場を設けており、学生の積極的な学習を支援する。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
なし

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし

<b>【教科書等】</b>
特になし

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

2つの班(M1, M2班)に分けて、知能機械工学科が取り組む以下の主要研究テーマについて、それぞれ専門の教員が2回の講義を行い、計12回の講義とする。

- (1)材料力学・材料工学
- (2)流体工学・熱工学
- (3)知的生産システム学・設計工学
- (4)知能ロボット・ロボット要素工学
- (5)メカトロニクス・制御工学
- (6)バイオエンジニアリング・ヒューマンインターフェイス

各テーマの2回の講義終了後、そのテーマに関するレポートを提出する。課題は担当教員が指示する。最終回は、研究発表(プレゼンテーション)を行う。各自が世話役教員より提示されたプレゼンテーション用課題から一題を選択し、発表と質疑応答を行う。

終了後に基礎セミナー全体についての感想文を提出する。

また、初回のガイダンスで各研究室の紹介パンフレットが配られる。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

出席状況、レポートおよびプレゼンテーションの内容より成績を決定する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

講義に関する質問は、講義担当教員が適宜応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

各研究室に関する質問や研究室見学の要望は、各教員に直接アポイントを取ること。

基礎セミナー全体に関する質問等は電子メールで受け付ける。

### 【学生へのメッセージ】

本学科の教員から話を聞き、実際の研究現場を見て、さらに自分で調べてプレゼンテーションすることにより、これから皆さんが学ぶ専門分野の雰囲気や勉強すべきことが分かると思います。また、これらを通じて、卒業研究、さらには大学院での研究状況の理解につながることを期待します。大学へのパスポートを取得したらそれで目標を見失う人がいますが、本学科ではそのようなことのないよう、将来の目標を持つためにこの講義が開設されています。この講義で質問のある人、さらに深く勉強したい人は遠慮なしに教員を訪ねてきて下さい。

### 【その他】